

令和4年度認知症関連施策事業の実績

事業名	認知症サポーター養成事業
事業内容	・認知症キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座の開催およびキャラバン・メイト活動の拡大
目 標	・認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る認知症サポーターを増やし、認知症の人と家族への支援の輪を広げる。
実 績	・認知症サポーター養成講座 実績25回 【R3：24回】
	サポーター養成講座受講者数 実績435人（うち初回受講者：340人） 【R3：483人（うち初回受講者：394人）】 中学生 14人 高校生 76人 大学生 42人 団体・企業 34人 地域 269人
評 価	・コロナ禍により学校での講座開催が少なかった。複数回受講される方も多く講座を通して市民の認知症理解が少しずつ広がりつつある。今後、要望に応じてリモートによる講座も実施していく。

事業名	認知症サポーター活動推進・地域づくり推進事業
事業内容	・地域における認知症高齢者とその家族への相談・支援の実施と、認知症の人への支援体制を構築し関係者間の連携強化を行う。 認知症地域支援推進員（地域包括支援センター内 6名） 専任1名（保健師）、兼務5名（保健師2名・社会福祉士3名）
実 績	・専任の認知症地域支援推進員を配置した。 ・新規に1名が認知症地域推進員研修を受講し、1名が現任者研修を受講。 ・認知症の人、家族への個別支援➡高梁（2）、津川（1）、巨瀬（8） 中井（1）、落合（5）、有漢（2） 備中（1） ・9月アルツハイマー月間に合わせて、認知症理解推進キャンペーンを開催（幟の設置、パネル展示・相談会の実施、行政放送、認知症を知るフェアの開催、認知症普及啓発ポロシャツの作成、マグネットステッカー、啓発ポスターの掲示、オレンジガーデニングプロジェクトの実施、一般向け認知症サポーター養成講座の開催） ・誰でも簡単自分史づくりを高梁市図書館との共催で開催 ・認知症サポーターステップアップ講座を2箇所で開催。 （認知症サポーター希望者・かわかみ茶坊※2回目を2/18予定） ・チームオレンジ「チーム布瀬のわ」結成
評 価	・9月アルツハイマー月間に合わせて、認知症理解推進の取組を行い、今年度はじめてパネル展示・相談会を開催した。普及啓発の取り組みは今後も継続が必要である。 ・チームオレンジが1か所で結成された。今後も各地でチームオレンジ結成に向けた基盤づくりが必要。

事業名	認知症ケア向上推進事業							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型施設を始め、認知症対応の専門職やキャラバン・メイトがいる事業所、ボランティア団体等により認知症の人とその家族、地域の人が集う場（認知症カフェ）を運営する。 							
実績	認知症カフェ 継続9、新規0 計9カ所(8、9月は運営自粛) 延69回							
	利用者：758人（認知症91人[R3：75人]、家族21人、一般646人、相談8件）							
			認知症の方	新規認知症	家族	新規家族	地域の方	相談件数
	1	カフェすずらん	14	5	6	1	90	4
	2	おしゃべり広場	11	3	1	1	105	0
	3	マスカットカフェ	4	1	5	1	45	2
	4	カフェ福ちゃん	0	0	1	1	7	0
	5	オレンジカフェ	0	0	0	0	46	0
	6	なりわ茶屋	23	5	8	3	81	2
	7	なりわ茶屋in川北	12	3	0	0	41	0
8	かわかみ茶坊	21	5	0	0	183	0	
9	カフェキク	6	1	0	0	48	0	
	計	91	23	21	7	646	8	
評価	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を施して、認知症カフェの運営を行うことができた。（岡山県B A・5対策強化宣言中は活動自粛） 介護保険サービスを利用しない認知症の人やその家族が安心して通える認知症カフェが必要。 認知症カフェ広報のため、行政放送で認知症特集番組を作成したが反響は少なく、より広報活動の工夫が必要。 							

事業名	認知症初期集中支援推進事業 必置事業（H30年度～）							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポート医を含めた認知症初期集中支援チームにより、診断を受けていない方、治療中断の方等で、認知症と思われる対象者を医療や介護へ繋ぎ、自立した生活を支援する。 認知症初期集中支援チーム員（研修受講済者）：保健師 4名、社会福祉士 1名、介護福祉士 1名 チーム数：1 							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 新規初期集中支援チーム員の養成 1名 初期集中支援チーム派遣：困難ケース 1件 							
評価	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に認知症初期よりも困難ケース支援を中心にチームが動いている現状があり、相談があった時にタイムリーに支援できるように体制を整える必要がある。 							

事業名	家族介護者交流事業（元気回復事業）
事業内容	・市内在住で要介護者（40歳以上）を在宅で介護している家族介護者を対象に介護支援や介護に関する知識を習得などを行う
実績	第1回 日時：令和4年7月13日（水）10：00～12：00 内容：講座「認知症の人との接し方～ちょっと楽に付き合うコツ～」、意見交換 参加者：7人 第2回 日時：令和4年9月28日（水）10：00～12：00 内容：講座「笑いヨガ」、参加者交流会 参加者：6人 第3回 日時：令和5年2月8日（水）10：00～12：00 内容：講座「ヨガ」、参加者交流会→開催中止
評価	・第1回目は初の試みとして認知症カフェ連絡会、キャラバン・メイト連絡会との合同開催で実施した。合同での開催により、認知症カフェを利用している当事者の家族介護者と認知症カフェ運営団体がつながることができた。 ・参加者は少数であったが、参加者からは「認知症介護について気持ちが楽になった」「生活の中で笑うことの必要性を感じた」などの意見があった。

事業名	認知症高齢者見守り事業			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・みまもりネットワークの体制整備と高齢者位置情報サービスを利用する際の初期導入費の助成を行う。 <p>[みまもりネットワーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症等により徘徊等で行方不明となる心配のある高齢者の家族に、事前登録をしてもらい、日常の見守りと行方不明時の連絡体制、警察や消防等との情報共有を行い、早期発見へ繋げる <p>[みまもりサポーター（大切なあなたを見守り隊）]</p> <p>みまもりメールに登録した団体及び企業</p> <p>[高齢者位置情報サービス費助成]</p> <p>高齢者位置情報サービスを利用する際の初期導入費の助成 助成額：10,000円（初期導入費用のみ、維持費は本人負担）</p> <p>※行方不明件数（市把握分）</p>			
		R 2	R 3	R 4
	行方不明事案	7件	2件	3件
	みまもりネットワーク活用	2件	0件	0件
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・みまもりネットワーク登録者 35件【R3：29件】 ・みまもりサポーターの登録 39件【R3：39団体】 ・位置情報サービス利用補助 0件【R3：0件】 			
評価	新規に9名がみまもりネットワークに登録し、関係機関と情報共有・見守りを行った。今後みまもりサポーターのあり方について検討が必要である。			

事業名	成年後見制度利用支援事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者の判断能力の低下による金銭管理の不安を軽減するため、成年後見制度の申立てにかかる諸費用、成年後見人等の報酬の全部または一部を支給し利用を支援する。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市長申立人数 1名 【R3：5人】 ・報酬助成決定者延べ件数 15件 【R3：17件】
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月に設置された高梁市権利擁護センター（高梁市社会福祉協議会へ委託）と連携を図り、成年後見制度の利用促進を行った。

事業名	権利擁護事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する虐待への早期発見・対応、生活上の困難事例の対応など権利擁護等アドバイザー（弁護士、司法書士、社会福祉士）の助言、指導により問題解決を図る。 委託先：公益財団法人 リーガルエイド岡山 〔弁護士〕小野 寛之 〔司法書士〕林 忠治 〔社会福祉士〕加藤 貴之 ・被虐待高齢者の避難先の確保を円滑に行い権利擁護の促進を図る。
実績	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待通報件数 7件 【R3 5件】 権利擁護・虐待相談延数 157件 【R3 111件】
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーや民生委員・主任児童委員に向けて虐待防止や早期発見・対応の周知を行った。 ・虐待防止定例会議の開催により、権利擁護等アドバイザーから定期的に専門的助言を受けることにより、虐待防止体制の強化を行った。

5. 認知症施策検討委員会での協議

第1回 令和4年7月26日(火) 13:30~15:15

- (1)昨年度の実績について
- (2)今年度の計画及び重点活動について
- (3)今年度のアルツハイマー月間の取組について
- (4)認知症ケアパスの見直しについて(グループワーク)

⇒「認知症かも」という単語は抵抗感がある人もいるかもしれない。

- ・相談先、相談するメリットを記載してはどうか。
- ・文字だけでなく、絵や図を用いる
- ・MCI・初期・中期など対象に合わせた内容にしてはどうか。
- ・前向きになってもらえるような内容になれば良いのでは。

第2回 令和4年11月29日(火)13:30~15:20

- 《議題》(1)今年度の認知症総合支援事業の進捗状況について
- (2)本人向け認知症ケアパスの見直し案について
 - (3)グループワーク①「認知症理解啓発促進活動について」

②「本人向け認知症ケアパスの見直し案について」

⇒①パネル展示について、市役所以外での開催を検討してはどうか。

様々な年代の人に認知症について知ってもらいたい。

行政放送:興味の引く内容だった。事前に時間が分かれば広報しやすい。

⇒②出来る限りポジティブな言葉を使うほうが良い。

認知症本人の生の声を聴いてみてはどうか。

- (4)認知症初期集中支援チーム活動報告について

第3回 令和5年2月16日(木)13:30~

- 《議題》(1)今年度の事業実績及び評価について
- (2)本人向け認知症ケアパスの見直し案について
 - (3)グループワーク①「本人ミーティングについて」

②「来年度の取組内容について」